



公立大学法人 兵庫県立大学
先端医工学研究センター
第16回 医工連携セミナー
The 16th AMEC Medical Engineering Seminar

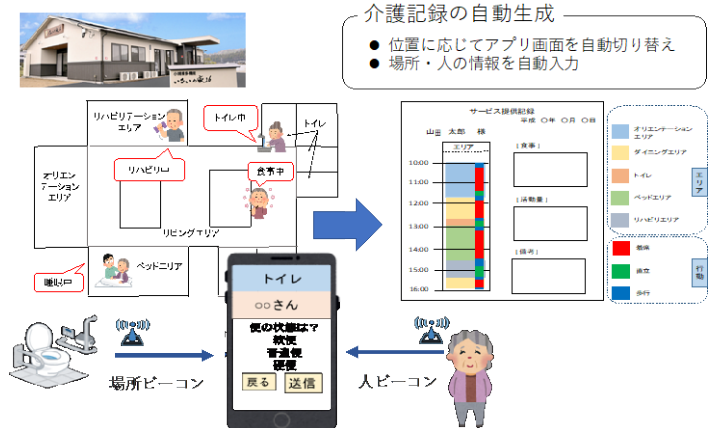
日時 : 2019年5月14日(火) 17:00~18:00
場所 : 姫路ターミナルスクエア2階会議室

荒川 豊 (あらかわ ゆたか) 先生

九州大学 大学院システム情報科学研究所 教授
大阪大学・大学院情報科学研究科・招へい教授
奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科・客員教授

「 医療と介護での IoT ビジネスの新潮流 」

本講演では、ウェアラブルセンサや環境設置型センサなどの IoT を用いた行動認識の研究者の立場から、医療や介護現場での利用を念頭において実施した研究の事例について紹介させていただきます。これまで、通所リハビリ型デイケア施設と連携して、センサ内蔵杖による歩行診断システムや、BLE ビーコンを用いた介護記録負担軽減システムなどを研究開発してきました。また、大手サービス付き高齢者向け住宅業者と連携して、一斉見守りに適したセンサの選定やアルゴリズムの開発なども実施しました。最近では、産業医と連携して、ウェアラブルセンサを用いたストレスやワークエンゲージメントの推定にも取り組んでいます。さらに、認識や計測の次にある研究として、次の行動を促す行動変容支援システムの研究も進めています。IoT 技術を用いて、医療や介護現場での労働が楽になり、介護する側もされる側もイキイキと過ごせる場になることを願っています。



講師プロフィール



1977年福生まれ。2001年慶應義塾大学理工学部情報工学科卒業。2003年同大学大学院理工学研究科開放環境科学専攻前期博士課程修了。2006年同後期博士課程修了。博士(工学)。慶應義塾大学大学院理工学研究科助教、九州大学大学院システム情報科学研究所助教、フランス・トゥールーズ大学(2011)客員研究員、ドイツ・人工知能研究所(2012)客員研究員、奈良先端科学技術大学院大学情報科学研究科准教授、アメリカ・UCLA(2017)客員研究員を経て、2019年4月より九州大学大学院システム情報科学研究所教授。奈良先端科学技術大学院大学客員教授、大阪大学大学院情報科学研究科招へい教授、一般社団法人ブロードバンド推進協議会およびドローン自動飛行開発協会理事を兼務。センサによる行動認識から行動変容を含むヒューマノフィリックシステムの研究に従事。PerCom 2019 Best Demonstration Award, IPSJ/IEEE-CS Young Scientist Award, Ubicomp/ISWC 2016 Best Demo Award などこれまで35件以上の賞を受賞。

主催 : 兵庫県立大学先端医工学研究センター
Language(言語) : Japanese (日本語)

講演会参加申込 : 不要 当日会場まで直接お越しください。

交流会 : 講演会の後、講師の先生を交えて交流会(会費4,000円予定)を開催いたします。交流会への参加を希望される場合、5月10日(水)までにセンター事務局へ(info@amec-hyogo.org)ご連絡ください。



AMEC

Advanced Medical Engineering Center